



2025

授業
アンケートから

学生の 選んだ 「いい授業」

Tokai Univ. Teaching Award
Prize Winners List 2025



◆一緒につくろう!『いい授業』◆

学生の皆さんへ

今回も、皆さんにご協力をお願いした「授業についてのアンケート」において、特に高い評価の先生方を「Teaching Award」として表彰しました。受賞された先生方の授業は、いずれもグループワークなどのアクティブラーニングを取り入れ、学生のみなさんが主体的・能動的に学びあえる内容です。まさしく、東海大学が社会的実践力を養うために設定した「4つの力」を身につけることができる授業です。これらの授業を通して、「自ら考える力」「集い力」「挑み力」「成し遂げ力」を主体的に身につけてください。

より良い授業を運営するには、学生の皆さんの声が必要です。これからもアンケートの回答にご協力いただき、皆さんと一緒により良い大学を創りましょう。

東海大学 学長 木村 英樹



「4つの力」でいい授業をつくろう

やあ! 僕はリッキー! 東海大学の「4つの力」イメージキャラクターだよ!

2009年に東海大学が社会的な実践力を養うための具体的な教育目標(育成する力)としてこの「4つの力」を策定したんだ。

「4つの力」とは、「自ら考える力」「集い力」「挑み力」「成し遂げ力」の4つ。

自ら考える力

常に未来を見据え自らが取り組むべき課題を探究する力

集い力

多様な人々の力を結集する力

挑み力

困難かつ大きな課題に勇気をもって挑戦する力

成し遂げ力

失敗や挫折を乗り越えて目標を実現していく力

僕と一緒に「いい授業」をつくりましょう!!

東海大学の「4つの力」
イメージキャラクター リッキー



2025 授業アンケートから/ 学生の選んだ「いい授業」

Tokai Univ. Teaching Award Prize Winners List 2025

◆ 優秀賞受賞者（2024年度選出）◆

文化社会学部
広報メディア学科

かたやま あつし
片山 淳先生



経営学部
経営学科

ないとう ようこ
内藤 陽子先生



理学部
数学科

ながい ひでとも
長井 秀友先生



農学部
動物科学科

さとう ゆうすけ
佐藤 祐介先生



資格教育センター
社会教育学系

たけのうち ただし
竹之内 禎先生

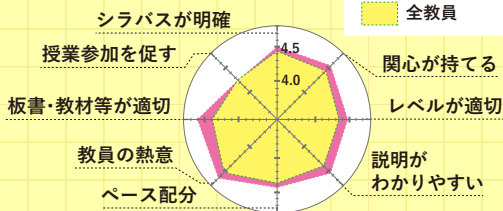


選考方法 東海大学では「教育の質向上」のために、1993年度から学生による授業アンケートを行っています。1年間に開講された全ての科目の授業を対象に、「授業についてのアンケート（Web方式で実施）」の「総合評価平均評価点」、「科目履修人数」、「アンケート実施率」等の結果を考慮し、学長室を中心に厳正なる審査を行いました。

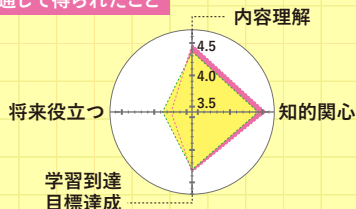
TA受賞者と全教員を比較

※2024年度実施結果

授業内容の工夫と進め方



授業を通じて得られたこと



今回の総合評価は…

2024年度秋学期の平均
(5点満点中)

4.35

[全科目の推移(全教員)]





文化社会学部 広報メディア学科

片山 淳先生

Katayama Atsushi

E-mail : katayama.atsushi.s@tokai.ac.jp



【学 位】M.A

【専門分野】広告コミュニケーション論

【主要授業担当科目】広告概論／広告戦略演習／広告企画／広告表現

学びは共創、だと思ふ。

私が携わってきた広告の仕事には、授業でも活きる知見が多いと感じます。以下、主な点を整理しました。

心がけていること:大人数の授業でも、コミュニケーションの基本は是一对一。ひとりの学生に語りかける意識を大事にしています。



学生に伝えるための工夫:テレビCMの経験や一部の学説などから、話すリズムが理解や記憶に大きく関係する感覚をもっており、言葉としてのテンポ感には注意しています。最近は日本語のラップにもヒントを感じており、勉強を兼ねて聴いています。

その他:学科の特性上、「リアルな空気感」は重要。学期に一度は、学外講師として一流のプロフェッショナルをお呼びするようにしており、学生にも良い刺激となっていると確信しています。

片山先生の『授業をよくするため』のテクニク

わかりやすくする

同じ内容を、文字と画像など異なるメディアで説明します。心がけているのは、個々の理解の特性を考慮した多角的な発信です。また言い方を変えて複数回、あるいは間を置いて再度説明します(理解と記憶は、反復のなかから生じると考えます)。

主体的に学ぶ

理論や事例の説明にあたっては、可能な限り身近なトピックをとりいれています。また「自分ならどうするか／あなたならどう考えるか」という文脈で語ることで、関与度を上げてもらうことを意図しています。

聞き取りやすくする

発音にメリハリを、発声をゆっくりと、そして適切な間合いを心がけ、逆に「聞き取りにくくないこと」を意識しています。またマイクの場合は声がきちんと拾われているか気をつけています。

「いい授業」のために私はコレを活用

ミラーリング / Imakiku

リアルタイムで履修生の反応を共有するため、それぞれの回答を投影できる画像シェア機能やオンラインの投票サービスを使っています。各自の意見がある程度の解像度とともに伝えられるように、特に企画系の演習授業で実施しています。

学生VOICE!!



菅野 怜王 さん Kanno Reo
文化社会学部 広報メディア学科 4年次生

片山先生の授業は、実際の事例や施策などを挙げながら広告コミュニケーションについて考える講義と、実際に広告コピーや企画を考える実践的な活動の両面から分かりやすく学ぶことができます。また、有名なコピーライターの方々をお呼びしたゲスト講義も積極的に行ってくれるため、広告業界のリアルを知ることができます。授業以外でも、就職活動や留学に関する悩みにも親身に乘って頂き、手厚くサポートしてください。

片山先生の
2025年度の
授業

▶授業内容はTIPS(Tokai Information Portal Site)「シラバス参照」で確認!

春学期	科目名	必選	単位	開講校舎
	広告概論	必	2	湘南
	広告戦略演習	選	2	湘南
	プレゼンテーション実践	選	2	湘南

秋学期	科目名	必選	単位	開講校舎
	広告企画	選	2	湘南
	広告表現	選	2	湘南
	ビジネス・コミュニケーション論	選	2	湘南



経営学部 経営学科

内藤 陽子先生

Naito Yoko



【学 位】博士(学術)
【専門分野】人的資源管理論／組織行動論
【主要授業担当科目】
人事管理論・人的資源管理論／組織行動論／ゼミナール(1年～4年)

人材マネジメントを多角的に考察する

この分野の理論を学ぶ意義を認識してもらうとともに、学生が社会で活躍するための基礎力を身につけられる授業にしたいと思っています。講義では、経営という実際に社会で起きている現象に照らし、どのような説明をすれば学生が理解しやすいのかをイメージしつつ、学術的な知見をわかりやすく伝えることを心がけています。学生には主体的に授業に参加し、会社や組織における人材マネジメントについて知識を獲得し、自ら課題や論点を見つけ、各テーマについて多角的に考察して視野を広げ、さらに実践力の向上にもつなげてほしいと考えています。今後もより良い授業を目指して、自分自身でも学び続け、研鑽を重ねてまいりたいと思います。



内藤先生の『授業をよくするため』のテクニック

わかりやすく
する

講義ではパワーポイントを用いて、要点を記したスライドを提示し、それを解説するスタイルをとっています。特に重要な箇所は丁寧に説明し、学生の「なぜ?」にこたえる形で進めていきたいと思っています。

主体的に
学ぶ

今年度の講義では、毎回の講義内容に関連する調査課題(事後課題)を提出してもらっています。図書館に所蔵されている書籍などを用いて各テーマについて調べ、自身の考察や見解、アイデアについてまとめることを通して、主体的な学習に取り組んでもらっています。

聞き取り
やすくする

話し方には抑揚や緩急をつけ、マイクを使用して声が届くよう意識しています。また、受講生に問いかけたり、間を置いたりすることで、授業への集中度が変わり、聞こえるという雰囲気になることがあります。

「いい授業」のために
私はコレを活用

ワークシート

ワークシートには、授業内容に関連した問いへの解答と教科書を用いた論述をしてもらいます。その上で、指定されたテーマについてグループディスカッションすることで、多角的に考えたり視野を広げたりしてほしいと考えています。

学生VOICE!!



山田 貴大さん Yamada Takahiro
経営学部 経営学科 4年次生

内藤先生の授業は、グループワークなどを通して人事管理や組織行動について学べる点が特徴です。特に私は人事管理について興味があったため、とても勉強になりました。試験は、学んだことをアウトプットするような形式で実施されるので、その機会を活かして記憶に残すことができます。実際にアルバイトをしている方は、自分の経験と学びが結びつく瞬間もあって新しい発見もあり、楽しく学ぶことができます。

内藤先生の
2025年度の
授業

▶ 授業内容はTIPS(Tokai Information Portal Site)「シラバス参照」で確認!

春学期	科目名	必選	単位	開講校舎
	組織行動論A	選	2	湘南
	組織行動論B	選	2	品川
	専門ゼミナールA	必	2	品川

秋学期	科目名	必選	単位	開講校舎
	人事管理論A	選	2	湘南
	人事管理論B	選	2	品川
	専門ゼミナールB	必	2	品川



理学部 数学科

長井 秀友 先生

Nagai Hidetomo

E-mail : hdnagai@tokai.ac.jp



【学 位】博士(理学)

【専門分野】離散可積分系

【主要授業担当科目】微分積分学／微分方程式

手を動かしながら学ぶ数学

授業の冒頭では前回までの到達点を振り返り、授業の最後には本時の授業で何を学んだかを板書して示しています。理解を促すため、授業中に演習を挿入し、学生が手を動かしながら学習内容を体感できるようにしています。

抽象概念には身近な具体例を交え、重要箇所は板書を色分けして強調するなど、ポイントが明確に伝わる工夫を随所に施しています。



長井先生の『授業をよくするための』のテクニック

わかりやすく
する

板書は要点を色分けし、図や具体例を多用しています。抽象議論も身近なモデルでかみ砕き、視覚的に整理して提示しています。

主体的に
学ぶ

随所に短い演習問題を挿入し、学生が自力で解答→回収・採点→Open LMS(授業支援システム)を通して解説することで、理解を能動的に深めるようにしています。

聞き取り
やすくする

板書の説明は、学生がノートをとっている途中ではないかを確認しながら、説明をしています。特に大事なところはゆっくり、必要ならば繰り返して話そう心掛けています。

「いい授業」のために
私はコレを活用

Open LMS(授業支援システム)

Open LMSで講義資料や類題を配布し、学生が復習・予習できる環境を整備しています。高難度問題は資料を追加配布し、意欲を支援するようにしています。

学生VOICE!!



伊藤 鴻志 さん Itou Koushi
理学部 数学科 3年次生

長井先生の授業は説明が分かりやすいのはもちろん、それに加えて他の科目や教科との関連を説明してくれるので何を学んでいるのか、後日学ぶ内容にどうつながるか想像しやすいです。微分方程式の授業ではベクトル解析でのポテンシャル関数や物理、工学への関連を説明してくださり、学んでいることが明確になります。また、授業外の質問も分かりやすく解説してくださるので、とても頼れる先生です。

▶ 授業内容はTIPS(Tokai Information Portal Site)「シラバス参照」で確認!

長井先生の
2025年度の
授業

春学期	科目名	必選	単位	開講校舎
	微分積分学1A	選	2	湘南
	微分積分学1B	選	2	湘南

秋学期	科目名	必選	単位	開講校舎
	微分方程式1	選	2	湘南
	微分方程式2	選	2	湘南
	関数解析	選	2	湘南



農学部 動物科学科

佐藤 祐介先生

Sato Yusuke

E-mail : sato.yusuke.k@tokai.ac.jp



【学 位】博士（農学）

【専門分野】

畜産物利用学／筋生理学／代謝学

【主要授業担当科目】

畜産物利用学／動物生体機構学

体験を通じた実践的な学び

私の授業では、学生がリラックスして受講できるよう、優しく問いかけながら進めることを心がけています。少しでも興味を持って授業に臨んでもらえるよう、印象に残るスライドや表現を工夫しています。食品、特に畜産物を題材として扱うため、理解しやすくなるよう現物を毎回持参し、必要に応じて授業中に加工や試食を行うこともあります（例：バター作り）。また、実習での経験と座学の内容が結びつくように意識し、身近な食品や日常の場面を例に取り上げて説明することで、学生が自然と内容を覚えやすくなるよう配慮しています。



佐藤先生の『授業をよくするため』のテクニック

わかりやすくする

身近な食品や畜産物を題材にし、授業中に加工・試食を行うなど、体験と結びつけて理解を深められるよう工夫しています。スライドや表現にもインパクトを持たせ、記憶に残りやすくしています。

主体的学ぶ

興味を持って主体的に学んでもらえるよう工夫しています。自分との関わりを感じられる内容にすることで、自然に考える姿勢を引き出しています。

聞き取りやすくする

話すスピードや言葉遣いに気を配り、聞き取りやすさを意識しています。また、内容を区切って繰り返す、問いかけを交えることで、理解できているかをその都度確認しながら進めるようにしています。

「いい授業」のために私はコレを活用

授業資料

スライドや資料も視覚的に工夫し、授業支援システムで復習も可能にしています。簡単な質問を繰り返すことで、学生が自然と覚えられよう心がけています。

学生VOICE!!



角野 楓太さん Sumino Futa
農学部 動物科学科 4年次生

佐藤先生の授業は、畜産物の栄養や製造過程について体系的に学べる内容で、実際に関連する畜産物を学生に配布するなど関心を引きつける点が特徴的です。授業を通して、普段何気なく食べている食品の背景や成り立ちに注目するようになり、食生活への意識も自然と高まりました。佐藤先生は質問にも丁寧に答えてくださり、とても親しみやすい雰囲気を持った方で、私生活の悩み事についてもアドバイスをくれることもあります。

佐藤先生の
2025年度の
授業

▶授業内容はTIPS(Tokai Information Portal Site)「シラバス参照」で確認！

	科目名	必選	単位	開講校舎
春学期	畜産物利用学	選	2	臨空
	動物科学実験1	必	1	臨空
	牧場実習1	必	1	臨空

	科目名	必選	単位	開講校舎
秋学期	動物生体機構学	選	2	熊本
	応用動物科学実験	必	2	臨空
	動物飼育管理実習1	必	1	臨空



資格教育センター 社会教育学系

竹之内 禎先生

Takenouchi Tadashi

E-mail : alpha@tokai.ac.jp



【学 位】博士(情報学)
【専門分野】図書館情報学
【主要授業担当科目】
図書館概論／情報サービス論／図書・図書館史

本と図書館の世界を楽しみながら学ぶ

私は、図書館の専門職員である司書の国家資格取得をめざす学生が学ぶ司書課程の科目を担当しています。司書は本の世界の案内人ですから、たくさん本を知らなくてはなりません。本の世界はほぼ無限と言ってもよいほどの広がりがあり、図書館はその縮図です。授業では、図書館の仕組みや種類、歴史などに加えて、具体的な本の知識を増やしていけるよう、図書館で



気になった本を探して報告するという課題を出しています。演習科目では、受講生が探した本をお互いに紹介合うワークや、コメントの相互批評なども行い、他の受講生が選んだ本、選んだ理由や着眼等について、受講生同士で考えを深め合う機会を提供できるように努めています。

竹之内先生の『授業をよくするため』のテクニク

わかりやすくする

教科書の要点となるキーワードをマーカーなどでチェックしてもらい、要点を短文または箇条書きで簡潔にまとめてもらいます。この作業を毎回行うことで、要点を押さえる「情報圧縮スキル」の習得を図ります。

主体的に学ぶ

毎週テーマを設定し、図書館でなるべくユニークな本を3冊探して紹介する課題を出しています。多くの本を知ることができ、同じテーマでも学生の着眼点が違って意外な本を選んでくる人がいるので、お互い刺激になるようです。

聞き取りやすくする

自分自身が面白いと思ったトピックやエピソードを紹介すると、自然と楽しそうな口調になっているようです。授業で絵本を紹介するときも、自分が楽しめるものをセレクトして読むと好評なようです。

「いい授業」のために私はコレを活用

授業資料

授業資料は自宅学習の手引きともなることを想定し、読み物風の話言葉の文章でなるべく各ページに画像を入れる形か、穴埋めプリントの形にしています。授業資料と教科書の要点のまとめが宿題になります。

学生VOICE!!



牛山 睦さん Ushiyama Mutsumi
文学部 日本文学科 2年次生

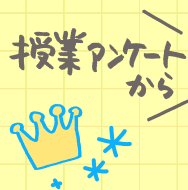
竹之内先生の授業の魅力は、学びが講義内で完結しないことです。図書館に行って本を探す課題や、ペアワークで図書館サービスを実践するなど、体験を通して図書館に関わる様々な知識を身に付けることができます。授業では資料や教科書に加えて関連する事柄や同時代に起こった出来事を教えて貰い、より記憶に残る学習ができます。竹之内先生はとても友好的で気軽に相談や会話ができるので、図書館への興味が深まる授業を受けられます。

竹之内先生の
2024年度の
授業

▶授業内容はTIPS(Tokai Information Portal Site)「シラバス参照」で確認!

春学期	科目名	必選	単位	開講校舎
	情報資源組織論A	必	2	湘南
	図書館概論	必	2	湘南
	情報サービス論	必	2	湘南

秋学期	科目名	必選	単位	開講校舎
	図書・図書館史	選	2	湘南
	図書館概論	必	2	湘南
	情報サービス論	必	2	湘南



学生の選んだ「いい授業」 受賞者一覧 (2002～2024年度)

※退職者、名誉教授、掲載辞退者を除いています。
※現在の所属名称で表示しています。

マーク
の見た



優秀賞 ('00:受賞年度 '00年:受賞年) *...2007年度以前の「最優秀賞」を示す。(2007年度以前は選考方法が異なり最優秀賞と優秀賞があるため)

文学部	文明学科	井野上 真弓 先生	15
文化社会学部	北欧学科(団体受賞)		14
	文芸創作学科	堀 啓子 先生	07年
		青山 七恵 先生	22
	広報メディア学科	笠原 一哉 先生	19
		片山 淳 先生	24
教養学部	心理・社会学科	浅井 千秋 先生	07
		有沢 孝治 先生	06 08
		梶井 龍太郎 先生	03 04
児童教育学部	児童教育学科	及川 留美 先生	23
体育学部	体育学科	内田 匡輔 先生	18
	武道学科	天野 聡 先生	12
	生涯スポーツ学科	野坂 俊弥 先生	17
健康学部	健康マネジメント学科	阿部 正昭 先生	13
		小林 理 先生	14
		西垣 景太 先生	22
経営学部	経営学科	森山 弘海 先生	03 04
		岩谷 昌樹 先生	06 09
		内藤 陽子 先生	24
		荒木 圭子 先生	15
国際学部	国際学科	小山 晶子 先生	16
		小貫 大輔 先生	07 10
		田辺 圭一 先生	18
		本田 量久 先生	21
観光学部	観光学科	山口 有実子 先生	23
情報通信学部	情報通信学科	大竹 恒平 先生	19
		西口 宏美 先生	07年
		星野 祐子 先生	22
		鍋井 理沙 先生	21
		小川 竜 先生	16
理学部	数学科	古谷 康雄 先生	06
		長井 秀友 先生	24
		遠藤 雅守 先生	05
	物理学科	関根 嘉香 先生	03 04 08
	化学科	浅川 毅 先生	02 07
情報理工学部	コンピュータ応用工学科	濱本 和彦 先生	02
	情報メディア学科	内田 理 先生	05

工学部	航空宇宙学科航空宇宙学専攻	池田 知行 先生	19
	航空宇宙学科航空操縦学専攻	新井 直樹 先生	13
	機械システム工学科	加藤 英晃 先生	20
	電気電子工学科	大山 龍一郎 先生	06
	生物工学科	笹川 昇 先生	22
	応用化学科	浅沼 徳子 先生	23
		シュロズブリー マーク リチャード 先生	11
医学部	医学科外科学系	増田 良太 先生	21
	看護学科	石井 美里 先生	07
海洋学部	海洋生物学科	村山 司 先生	04 07年
		岡田 夕佳 先生	15
文理融合学部	経営学科	田中 靖久 先生	09 13
	地域社会学科	セタクス ラリー ジョン 先生	23
農学部	農学科	松田 靖 先生	06
		今井 早希 先生	19
	動物科学科	櫻村 敦 先生	17
		佐藤 祐介 先生	24
		植田 俊 先生	19
国際文化学部	地域創造学科	広川 龍太郎 先生	07
		山田 秀樹 先生	15
		田川 正毅 先生	07
		塚本 未来 先生	23
		ディーン エリック スティーブン 先生	18
	国際コミュニケーション学科	ハミルトン マーク C 先生	07
		藤森 修 先生	17
	デザイン文化学科	中尾 紀行 先生	07
生物学部	生物学科	笠原 宏一 先生	07
		和泉 光則 先生	14
	海洋生物科学科	大橋 正臣 先生	20
		野坂 裕一 先生	21
		朝倉 徹 先生	04* 05 11
総合教育センター	資格教育センター	稲垣 智則 先生	16
		篠原 聡 先生	12
	社会教育学系	竹之内 禎 先生	24
		星野 芳恵 先生	18
	語学教育センター	安 小鉄 先生	06
		キム ミンス 先生	17
		佐藤 浩一 先生	10
		中島 仁 先生	14
		及川 義道 先生	02
		栗田 太作 先生	22
理系教育センター		永野 光浩 先生	14
		堀澤 早霧 先生	20



各種アンケートを実施

東海大学では、学修状況や教育環境の改善のため、以下のようなアンケートを実施しています。
今後も入学から卒業まで、学生一人ひとりの声に耳を傾け、学びの場の充実に努めていきます。

① 授業についてのアンケート

受講学生からの“声”を教員へフィードバックし、魅力ある授業づくりにつなげている

今年度は以下の日程で実施予定です！

「いい授業」をつくるため、学生の皆さんの率直な“声”をお寄せください！！

・春学期 **2025年6月16日(月)から9月17日(水)まで**

・秋学期 **前半講義分(全7回授業)：2025年10月20日(月)から11月29日(土)まで**

その他科目：2025年12月1日(月)から2026年3月4日(水)まで

※TIPSを活用したWEB方式で実施します。詳細はTIPSにてお知らせします。

② PROGテスト(1年次生・3年次生)

ディプロマ・ポリシーに基づく学修成果の可視化に役立っている

③ 卒業にあたってのアンケート

卒業時に大学全般のことについて広く意見を集め、今後の教育環境改善に役立っている

2025年度「授業参観」及び Teaching Award受賞者の「授業公開」の実施

東海大学では、優れた授業の展開や組織としての教育力向上につなげる観点から、教員相互の「授業公開」「授業参観」をFD活動の重要な手段のひとつとしています。

また、2024年度Teaching Award受賞者の先生方にご協力をいただき、教職員を対象に「授業公開」を実施します。詳細は、近日中にお知らせいたします。

オプション企画「授業改善交流サロン」

Teaching Award受賞者の「授業公開」オプション企画として、受賞者の先生方をホストに、参加者同士で授業運営の悩みなどを意見交換する「授業改善交流サロン」を開催いたします。詳細は、近日中にお知らせいたします。
授業をより良くしたい先生方、ぜひご参加ください！



発行：東海大学 編集：東海大学 学長室 教学(教育支援)担当
TEL:0463-63-4824 E-mail: shien-fdsd@tokai.ac.jp
東海大学オフィシャルサイト「FD・SD活動」ページ：
<https://www.u-tokai.ac.jp/education-research/improvement/>

東海大学 FD・SD

検索

